

令和2年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (2)

相生中島上流湿地にSDGsの取り組みについての看板設置

| | |
|----|--|
| 日時 | 令和2年5月14日(木) |
| 場所 | 十勝川相生中島上流湿地 |
| 内容 | 平成29年から行っている相生中島上流湿地での掘削作業等が、今年度からSDGsの取り組みとして実施していくにあたり、目標等を紹介した看板を上下流に2箇所設置しました。 |

相生中島上流湿地でのSDGsに対する取り組みを実施しています。

●相生中島上流湿地 空撮

管理面積: 約4.7ha
水域面積: 約2.0ha

撮影日: 令和2年4月27日

●取り組むSDGs目標
当会では以下の3つの目標について取り組みます。

13 気候変動に具体的な対策を
行動: 再造林化を防止し、湿地、草原環境を維持することで再繁茂するヤナギ林の伐採量を減らしその工事に伴う温室効果ガス(二酸化炭素量)を抑制する。
目標: 2030年までに温室効果ガスを45%削減する。(排出量24.01t→13.42tへ)

15 陸の豊かさを守ろう
行動: ヤナギ単層林から多様なハビタットへの変化で創出した、生物の多様性を維持する。
目標: 湿地環境の創出により49%増加した生物種数を2030年まで維持する。(湿地造成前138種→湿地造成後205種)

17 パートナースHIPで目標を達成しよう
行動: 川づくりにおけるアイヌ民族文化とのパートナーシップと民族文化伝承への協力をする。
目標: 年間約20束分のゴザ(キナ・チタラベ)制作に必要な原材料のガマ(シキナ)生育地を確保しを提供し続ける。

この地区にゴミを捨てるのはやめて下さい。

十勝川中流部市民協働会議
帯広開発建設部 帯広河川事務所

設置した看板



看板設置箇所図